

4. 課程認定を受けている課程を有する学科等の各段階における到達目標

<国際食料情報学部国際バイオビジネス学科> (認定課程 高一種免 (農業))

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	語学や人文・社会科学の科目を中心に、教員としての基礎知識・教養を幅広く養う。教職についての理解を深め、教員としての適性を確認する。
	後期	語学教育を継続し、基礎知識や教養を引き続き高める。植物学や栽培学など、学部共通および一部の専門科目にて農業技術を学ぶとともに、アジア農業、アフリカ農業、ラテンアメリカ農業などの国際農業について学び、農業教員としての知見を広める。
2年次	前期	語学教育を継続して実施するほか、専門科目において農業経営や地域再生に関する事項を学ぶ。また、実地研修により教養だけでなく人間力を育む。実地研修では、集中講義における研修のほか、事前学習・事後学習を通じて農業経営への理解を深化させ、農業教員としての自覚を形成する。
	後期	引き続き語学教育を実施するほか、会計学や財務会計論にて専門技術を学ぶほか、バイオビジネス経営実践論にて実際のビジネス現場における事例を通じ、経営者、管理者の視点から人間力を高める。
3年次	前期	英会話、ビジネス英会話の授業では、語学教育を英語教育に特化し国際人としての素養を伸ばす。経営組織論、経営戦略論などの科目を通じ、社会と産業（農業）との関わりや社会的責任について理解を深める。また、食農教育論など人的資源開発の意義に関わる授業を展開し、農業教員としての責任の自覚を促進する。
	後期	引き続き英語科目を継続して履修し国際人としての素養を高める。イノベーション普及論や地域資源論など、環境と産業との共存について理解し、ビジネス展開による社会的責任、企業の役割を学ぶ。
4年次	前期	卒業研究を通じ、論理的思考をトレーニングし、研究発表を通じて他者に自己の考えを伝達する技術を修得する。教育実習を通じて、教員としての教授技術を修得し、教員としての自覚を促す。
	後期	引き続き卒業研究を通じて論理的思考を育むとともに、これまでの学習を体系的に振り返り、自己の特徴や長所を活かした教員像を考えさせる。